

◆ 議長記者会見概要

日時：令和6年7月3日（水）15：46～15：56

場所：県議会棟理事者控室

出席者：中野雅史議長、川口延良副議長



川口延良副議長

中野雅史議長

<就任にあたって>

（中野議長）

ただいま議長に選出いただきました、中野雅史でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

大変重要な責任あるポジションをいただきまして、身の引き締まる思いでございますけれども、就任した以上は一生懸命頑張っていきたいと思っているところでございます。

県議会では、政策提案や情報公開等、開かれた議会を目指して、今までも積極的に取り組んで参りましたけれども、議長の立場になりまして、より一層頑張っていきたいと考えております。そして、わかりやすい運営や開かれた議会を目指していきたいと思います。

二元代表制の一翼を担う議会の代表者である議長として、その役割を十分に発揮できるよう、チェック機能により、バランスを図り、与えられた任務をしっかりと頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(川口副議長)

この度、多数の議員各位から選任いただきまして、副議長に選ばれました。

誠に光荣でありますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いです。

今後も県政の課題に関して十分議論を尽くしながら、さらなる議会改革の発展に向けて、また県民の皆様の声に耳を傾けながら、議会機能を十分に発揮し、議長の補佐をさせていただく所存でございます。

関係各位の皆様には、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。簡単でございますが、就任に当たってのご挨拶とさせていただきます。

<質 疑>

Q：議長と副議長には、理事者側と議会側をつなぐ役割があると思うのですが、知事や理事者とどのように接していきたいかのお考えをお伺いいたします。

(中野議長)

理事者と議会は、お互いが、是々非々の立場でやっていくべきだと思っております。

しっかりとチェック体制はとっていきますけれども、協調できるところは協調していきたいと思っております。

(川口副議長)

二元代表制においては、どちらも県民から選ばれた代表者でございます。

是々非々とよく言われますけれども、その場その場でしっかりと、県民にとって何が利益になるのかを最優先に考えながら選択をしていくのが、我々議会のチェック機能であると議長が申し上げましたが、その役割に、責任を持って邁進していきたいと思っております。

Q：山下知事が就任されて1年が経ちましたが、日本維新の会の知事になって、県政も変わったという印象を議長ご自身はお持ちなのでしょうか。

先ほど是々非々というお話もありましたが、どのような印象を持っていますか。

(中野議長)

山下知事ご自身がおっしゃっているように、知事が変われば政策が変わることは、よく理解をしているところです。しかし、特に大きなプロジェクトを、その調査や研究をしないで事業の執行を停止し変更していくところは、理解することがで

きません。

これらのプロジェクトは、荒井前知事と私たちが長年かけて段取りをしてきた事業です。そのようにたやすく、簡単に変えられる軽薄なものではありませんので、少し急ぎすぎなのではと思っております。

その辺りは議会がしっかりチェックを入れながら、是々非々の立場でやっていきたいと思っております。

Q：それに関連して、この1年、知事と自由民主党・無所属の会の議員の間で議論が熱く交わされてきたと思いますが、議長として議会をまとめていく立場について、抱負や進め方について、お考えをお伺いします。

(中野議長)

議長としての立場をいただきましたので、知事対議会や政党同士の争いとは違い、議会をまとめながら、県民の目線に合わせた政策をきちんとやっていくことが大事です。それを心がけながら、対峙ではなく、話し合いをしっかりとやっていきたいと思っております。

知事は、最初に少し気負いすぎて、アクセルを踏みすぎたのではないかと思っております。そういう意味では、ブレーキをかけることが議会の役割です。時にはブレーキをゆるめながら、時にはブレーキをかけながら進めていきたいと考えております。

(終了)